

おおきなかぶ—ロシア民話—

A. トルストイ 再話

内田莉莎子 訳

佐藤忠良 画

福音館書店 1966年 743円



おじいさんが植えたかぶは大きく育ち、一人では抜くことができません。おじいさんはおばあさんを、おばあさんはまごを、まごは犬を…と、次々に呼んできて、やっとかぶを抜くことができました。横長の絵本に大きなかぶと、それを引き抜こうとする登場人物たちが、力強く描かれています。また、「うんとこしょ、どっこいしょ」という、簡潔でリズムカルな言葉のくり返しが楽しい絵本です。

おつきさまこんばんは

林明子 作



福音館書店 1986年 700円

夜、空が暗くなって、まんまるのおつきさまがでてきました。やねの上で、2匹の猫たちがおつきさまをみていると、雲がやってきて、おつきさまのかおをかくしてしまつて…。やさしいあたたかな絵と、赤ちゃんに語りかけるような文章の絵本です。表紙と裏表紙のおつきさまのかおも楽しめます。シリーズは「きゅっきゅっきゅ」「おててがでたよ」など全4冊です。

おつむてんてん

なかえよしを 作

上野紀子 絵



金の星社 1980年 780円

さっちゃんがおつむてんてん…をすると、それをみていた猫のにゃんこがまねをします。犬のわんた、あひるのがあすけとつぎつぎにまねをしていって…。赤ちゃんの好きなおつむてんてんを絵本にしたものです。ピンクと黄色をバックに、白黒で赤ちゃんや動物たちが描かれています。リズムカルなくり返し文章は、わかりやすく楽しめます。「あかちゃんとおかあさんの絵本」シリーズは「おくちはどーこ」などがあります。